

進路だより

～ Dreams Come True ～



郡山市立明健中学校
★★ 第 11 号 ★★
令和 3 年 7 月 13 日 (火)
文責：進路指導担当 小林 和歌子

■ 進路目標達成に向けた有意義な夏休みを！～夏を制する者は受験を制す～ ■

中学校最後の夏休みが近づきました。3年生はやはり、これまでとは違った夏休みを過ごさなければなりません。この夏、生徒に意識してほしい点を挙げました。お子様とお読みになり、夏休みの過ごし方についてお話しください。

1 学力向上の絶好のチャンスをものにしよう！

不得意科目や分野の克服に向けて、時間をかけてじっくり取り組めるよい機会です。夏休みの頑張りは学力アップにつながります。

- (1) 各教科の 1・2 年の復習を夏休みの間に完了させよう。第 1 回実力テストの解き直しや過去問に取り組むことも効果的です。
- (2) 量をこなして、基本的な内容を確実に定着させ、さらに応用力もつけよう。
- (3) 1 日、**最低 8 時間**家庭学習に取り組もう。

2 進路希望先に関する情報をさらに得よう！

自分の足で、目で、耳で、直接見たり聞いたり体験する中で、進路について考えていくことはとても大切なことです。目的意識をもって積極的に体験入学に参加しましょう。体験入学に参加しない人も各校の HP 等で引き続き情報を得ましょう。令和 4 年度入試に関する内容は夏休みあたりから随時発表されます。

3 進路について家族と話そう！

家族とじっくり話ができる時期です。自分の考えを話す、家族の考えを聞く時間をぜひ作ってください。また、お家の方の中 3 の時の話を聞いてみることもよいと思います。

4 規則正しい生活を送ろう！

- (1) 決まった時間に寝起きし、3 食必ず食べよう。
- (2) テレビ、インターネット漬けにならないように注意しよう。

■ 進路決定までの流れ（確認） ■

4 月の保護者懇談会時に説明いたしました。夏休み明けから 3 月までの進路決定に関する動きを再度示します。ご確認ください。

夏休み明け 夏休みの三者相談や体験入学などを通して、進路目標をより具体的に！

11月 第 4 回までの実力テスト結果をもとに、**教育相談で受験形態や受験校を具体的に決めます。**
(私立、県立、国立、専修学校、定時制、通信制・・・etc)
私立・・・推薦(専願推薦・併願推薦)? 一般併願? 専願?
県立・・・特色選抜はどうするか? 私立併願をするか? など

1月 私立高校推薦入試・合格発表、私立高校一般入試・合格発表
2月 県立高校前期(特色・一般)選抜願書記入
私立入試の結果より、県立の希望を再確認します。
県立高校前期選抜出願・出願先変更

3月 県立高校前期選抜・合格発表 県立高校後期選抜・合格発表

■ 夏季休業中の教育相談について ■

生徒のみなさんへ

7 月 26 日(月)から始まる教育相談は、あなたの進路先について相談をするものです。担任の先生は、第 1 回進路希望調査に基づいて相談の準備を進めています。進路希望について保護者の方と事前に話し合い、そのうえであなた自身が自分の考えを明確に説明できるようにしておきましょう。**制服着用、検温表・上履き持参**

保護者のみなさまへ

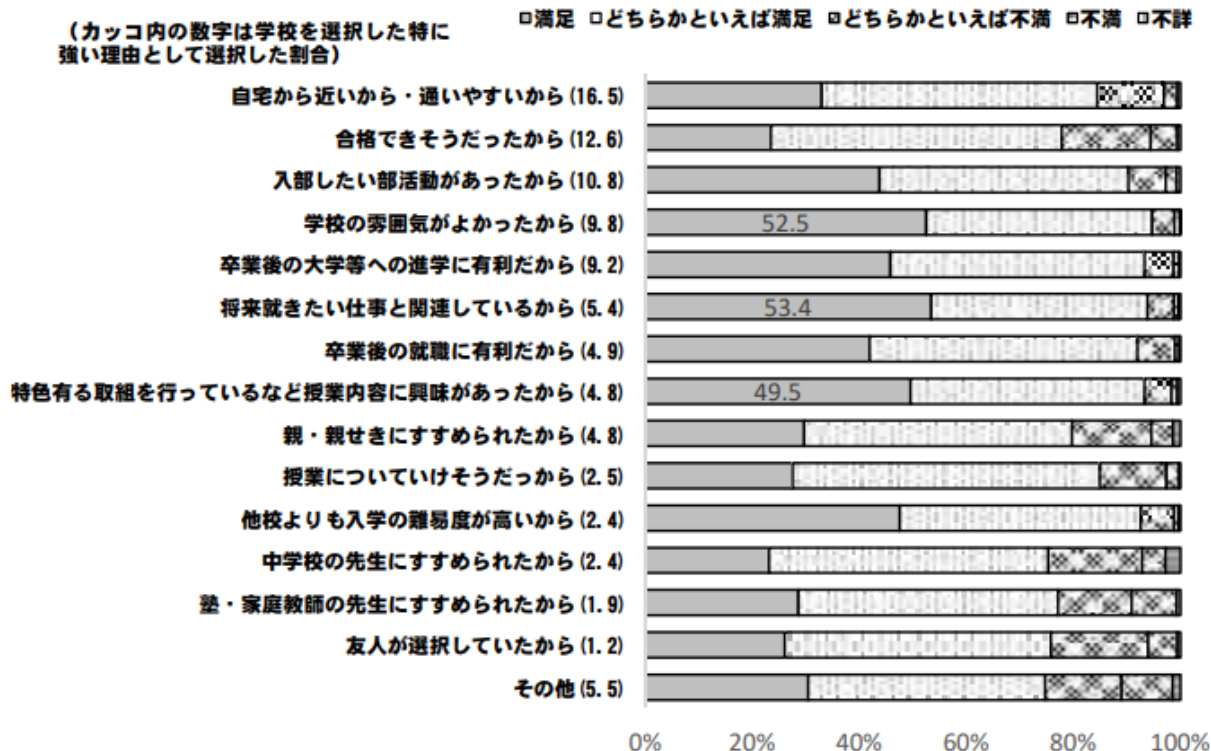
公私ともに忙しいところ、お時間を作っていただきありがとうございます。有意義な教育相談にするために、進路希望等をご家庭でもよく話し合われるようお願いいたします。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、**検温、マスクの着用、手指消毒にご協力ください。また、実施時間に合わせてお越しください。**

■ 生徒の声～進路選択に向けて～ ■

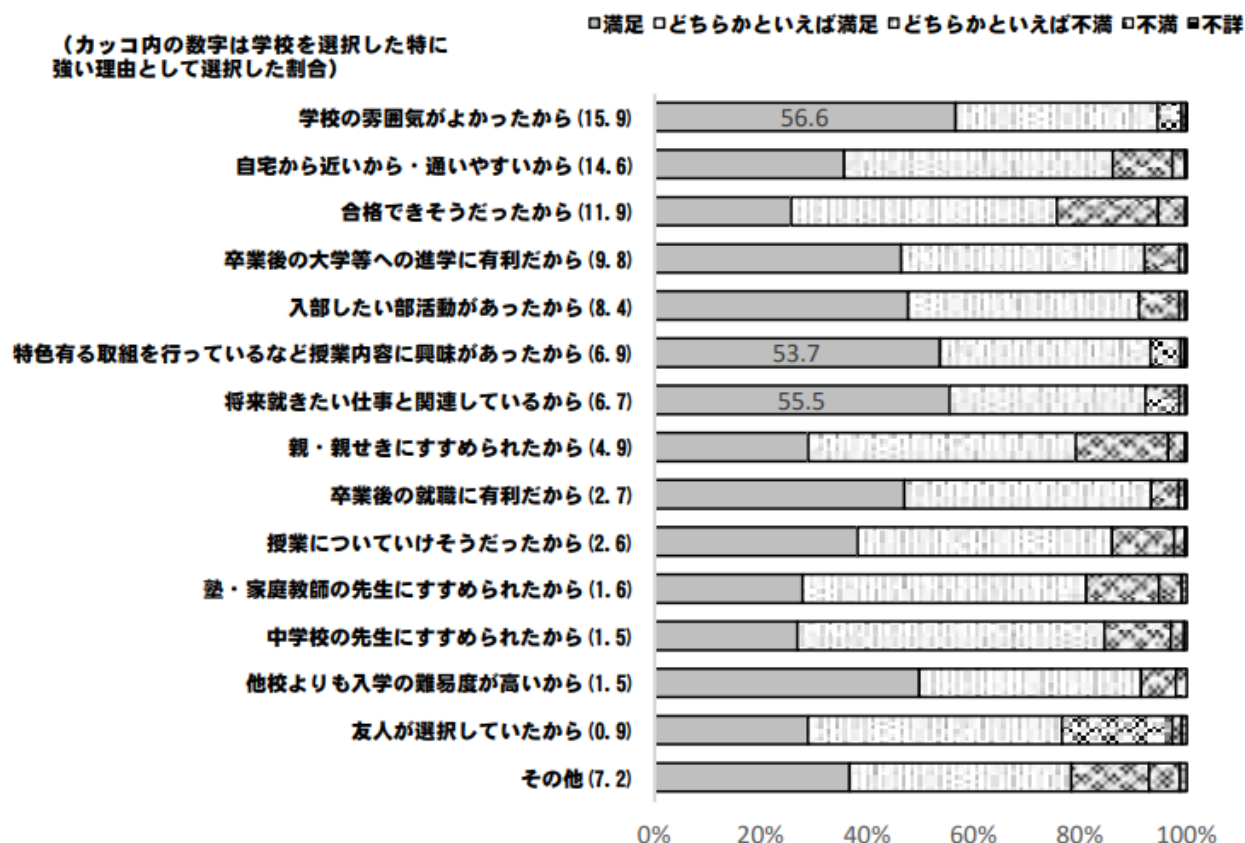
定期テストⅠの国語の条件作文で下記の文科省が高校1年生（2001年出生児対象）に実施した、統計調査結果（第16回21世紀出生児縦断調査）を取り上げました。生徒の解答には調査結果をもとに自分の進路選択に関して考えを巡らせる様子が見られました。以下に数例示します。

図5 学校を選択した特に強い理由別 進路選択の満足度

男子



女子



両親や先生からすすめられて選ぶこともダメではないが、自分の将来の夢、大学進学や就職のことを頭に入れて選ばなければ進学先で不満を抱くのは当たり前である。私もそろそろ進路を選択する時期になる。自分でいっぱい悩み悔いの無い選択をしたいと思う。

学校を選択する上で、甘い考えでその学校を選択すると良くないと考えた。学校を選択する際には、近いからという理由だけではなく、その学校の特徴なども調べる必要があると私は考える。

学校の雰囲気を選択した人は男女ともに五割以上の人が満足しているので、実際にその学校を見て決めることが大切だと思った。また、他者にすすめられて選択をした人は不満だと感じている人が多いので高校は自分で選択するべきだと思った。

「家族のすすめ・近さなどの利便性」は受動的な志望動機なのに対し、「雰囲気や将来の仕事との関係」は能動的で、自分の未来を切りひらいていこうとする意欲が見られる。自分もこの意欲を持って高校を選びたい。

学校の雰囲気や自分の将来のことなど、先のことまでしっかり考えて学校を選択しているんだなと思った。私も学校見学などに参加して自分が三年間過ごす高校を自分の目で見て、雰囲気を感じて、自分の将来の夢のためにも満足する高校選びをしたいと思った。

私も学校の雰囲気が良ければ、その進路に進むかもしれないが、それだけで決めてはいけないと思う。なぜなら、自分がやりたいと思った所に進まないとやる気なども出ず、辞めてしまうからだ。せっかく決めて行ったのなら、最後までやれる所を選んだ方がいいと私は考える。

私は、始めは自分の成績にあった高校にしようと考えていた。しかし、この資料をみて将来のことや学校の第一印象も大事だと分かった。高校選びは人生にとっても大切な場面だから慎重に考えたい。

自分の目標を高くもって、本当に行きたいと思っている学校を受験した方が満足がいくのではないかと考える。たとえ落ちてしまっても、挑戦した結果だからしかたないと考え、他校での学校生活を送れば、よい思い出になるのではないかとと思う。

■ 8・9月の進路関係行事 ■

8月26日(月) 第2回実力テスト

9月9日(木)・10日(金) 定期テストⅡ